

(株)ギオンにおける就労訓練事業の事例

株式会社ギオンご紹介



株式会社ギオン

創業以来、「物を運び、人々の生活を豊かにする」ことに真摯に取り組んできたギオングループ。私たちが運ぶものは「物」だけではありません。生産者、販売者、消費者の「夢」や「想い」を運び、皆さまの暮らしを支えてまいりました。これからも、ギオングループは物流を通じて地域社会に大きく貢献してまいります。



株式会社ギオンにおける就労訓練事業実施までの流れ

自立相談支援機関



管理本部人事部人事課
岩田一輝課長



神奈川第一センター
高橋誉チーフ



大野台センター
石井陵太マネージャー

受け入れの可否を相談し、
職場見学に向けた連絡・調整

日程を相談し、
職場見学・面談を実施

石井マネージャー管理の下、
大野台センターで訓練開始

ケース事例

■ Aさん（10代女性・定時制学生で就業経験無）



＜ギオンでの就労訓練事業を希望した経緯＞
体を動かす仕事を希望しており、複数の企業へ
職場見学したなかで興味を持った。



－就労準備、複数の職場見学・体験を経て、次のステップ（就労訓練）へ－

自立相談支援機関へのつながりは、日頃から連携しているスクールソーシャルワーカーでした。

自立相談支援機関では、就労支援員が、Aさんとその家族及び進路担当の教員と支援方針を共有しながら、様々な課題解決に向けた相談支援を開始し、「就労準備支援事業」活用の提案を行いました。

Aさんは、自身の生活課題に向き合い、就労準備支援事業（ボランティア・畑作業等）に前向きに取り組む、複数の職場見学や体験（農業・警備会社・食品製造工場）も経験することで、Aさんらしい主体性が出てきました。そして、就労訓練事業の利用に向けたアセスメントへ移行しました。

－就労訓練事業所を見学した上で、よりAさんに合った他市の事業所を検討－

自治体の無料職業紹介事業と連携しながら、(株)ギオン人事課に、Aさんの生活背景を踏まえたプランを相談し、認定就労訓練事業所の神奈川第一センターの見学調整を行いました。物流倉庫の説明・職場見学で、コロナ禍における倉庫の繁忙状態など、リアルな業界知識を学びました。さらに、関係者間でAさんが対応可能な作業や、Aさんの生活圏も考慮した上で、他市にある認定就労訓練事業所の大野台センターでの受入を調整したところ、同センターで雇用の見込みがあったことから、就労訓練の実施を決定しました。

－就労訓練を経て採用。採用後も就労支援員による支援を継続－

大野台センター石井マネージャーと現場のみなさまのご指導とご支援のもと、きめ細かな訓練事業、自立相談支援機関を交えた訓練の振り返りのための面談が実施されました。

職場においてAさんの強みも明確になり、Aさんは、これから目標して頑張ることをご自身の言葉でまとめ、正式な面接に臨み、採用に至りました。引き続き就労支援員は、Aさんと(株)ギオンに就労後のフォローを行いながら、段階的な生活課題の解決に向けた支援を継続していきます。